

こばやし あいみ  
小林 愛実さん (ピアノ/山口県宇部市/パリ・東京在住)



©Makoto Nakagawa

【経歴】(2022年4月現在)

山口県宇部市出身  
8歳より、二宮裕子氏に師事  
2007年 桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室に特待生として入学  
2008～09年 東京倶楽部特別助成金を受ける  
2011年 桐朋学園大学附属高校音楽科に全額奨学金特待生として入学。9月よりロームミュージックファンデーション奨学生  
2013年 渡米、カーティス音楽院に留学

【受賞歴ほか】

2005年 全国学生音楽コンクール小学校の部 全国大会第1位 (過去最年少での1位(小学4年生))

2009年 アジア太平洋国際ショパンピアノコンクール(韓国) ジュニア部門第1位  
2011年 ショパン国際ピアノコンクール・イン・アジア(東京) コンチェルトC部門 アジア大会金賞  
2011年 福田靖子賞選考会 福田靖子賞(第1位)  
2012年 ジーナ・バックアウワー国際コンクール(米国) ヤングアーティスト部門第3位  
2015年 ショパン国際ピアノ・コンクール(ポーランド) ファイナリスト  
2018年 ワーナークラシックス インターナショナル 契約  
2021年 ショパン国際ピアノ・コンクール(ポーランド) 第4位

小林愛実氏は山口県宇部市に生まれ、8歳よりピアノを二宮裕子氏に師事し、2011年桐朋学園大学附属高校音楽科に全額奨学金特待生として入学、2013年よりフィラデルフィア・カーティス音楽院に入学。マンチェリウ教授に師事し研鑽を積む。

3歳からピアノを始め7歳でオーケストラと共演、9歳で国際デビューを果たし、以降、世界各地よりソロやコンチェルトなど、数多くの招聘演奏会を行った。また、国内においても、各地でオーケストラとの協演やリサイタルを行い、高い評価を得ている。

2010年(14歳)「デビュー!」でCDメジャーデビュー、翌年セカンドアルバム「熱情」をリリース(EMI CLASSICS)。また、同年ショパン生誕200年記念に際して、ポーランド政府より「ショパン・パスポート」を授与された。

2015年(19歳)「第17回ショパン国際ピアノ・コンクール」に出場、ファイナリストに選出された。

幼少期より多くのメディアから注目を集め、フランスのLCIテレビのドキュメンタリー、日本テレビ「深夜の音楽会」、テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」など多数のテレビやラジオ番組にも出演、2015年にはMBS「情熱大陸」にも登場し話題を呼んだ。

2021年「第18回ショパン国際ピアノ・コンクール」に再度挑戦した結果、第4位を獲得した。ピアノの3大国際コンクールでの入賞を果たしたことは国内はもちろん世界が認めるピアニストに成長したといえる。今後の活躍が非常に楽しみである。

受賞の言葉

私の故郷、山口県宇部市は瀬戸内海と中国山地に囲まれた自然豊かな地域であり、そこでの穏やかな気候と優しい人々との出会いが、私の人生および音楽活動の原点になっていると感じています。

現代は、AIなどの高度なテクノロジーが発展、普及している時代ではありますが、これまで私はクラシック音楽の普遍性を信じ、ピアニストとしての活動を続けてきました。人々が1つの空間に集い、同じ音楽の響きを共有する、そうすることで魂が揺さぶられ、感動が生まれる。そのような体験を私は大切にしたいと考えています。

2022年は私にとって、8年間在籍したアメリカのカーティス音楽院を離れ、ヨーロッパ・フランスという新しい環境で、もう一度、私自身と自分の音楽について見つめ直す、節目の年でもあります。そのような折りに、栄誉ある「エネルギー音楽賞」をお受けすることができ、これ以上の励みはありません。

受賞者としての誇りを持ち、中国地域における音楽文化の発展のために微力ながら尽力してまいります。



©Wojciech Grzędziński / Chopin Institute



©Wojciech Grzędziński / Chopin Institute



©Darek Golik / Chopin Institute



©Darek Golik / Chopin Institute

(上の写真4点すべて) 第18回ショパンコンクール/2021年10月/ポーランド